

2018年12月17日  
 一般社団法人 GOLD 日本委員会  
 事務局（株式会社アース・ワン・オフィス内）  
 （担当）大塚  
 （電話）03-5360-4334 （FAX）03-5360-4336  
 （E-Mail）[info@gold-jac.jp](mailto:info@gold-jac.jp)

## COPD 認知度把握調査 結果報告書

- GOLD 日本委員会事務局による COPD 認知度把握調査の実施

GOLD 日本委員会では、現在までに 11 回（2009 年 7 月、2009 年 12 月、2010 年 12 月、2011 年 12 月、2012 年 12 月、2013 年 12 月、2014 年 12 月、2015 年 12 月、2016 年 12 月、2017 年 12 月、2018 年 12 月）にわたって、インターネットによる COPD 認知度把握調査を実施してきました。

以下のとおり、その概要と結果をご紹介します。

- 調査の概要

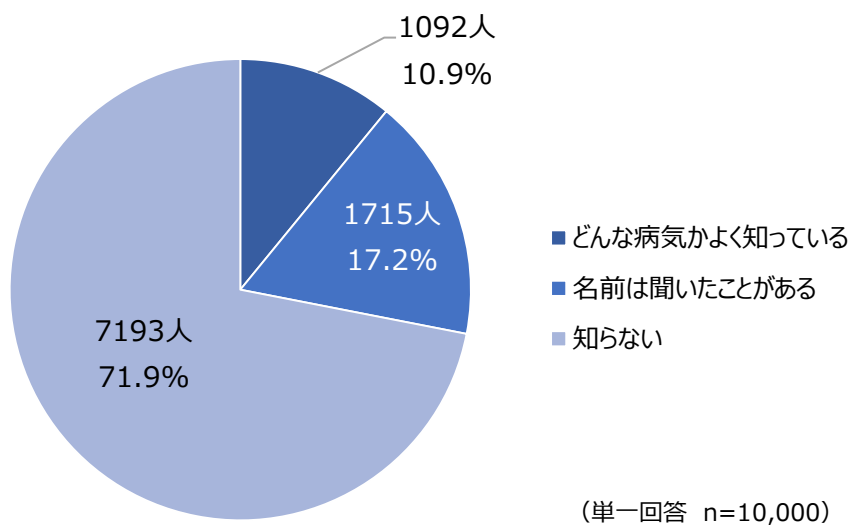
	1 次調査	2 次調査
方 法	インターネット調査	
調査期間	【第 1 回】2009.7.23      【第 7 回】2014.12.8-10 【第 2 回】2009.12.14      【第 8 回】2015.12.1-2 【第 3 回】2010.12.6      【第 9 回】2016.12.1-5 【第 4 回】2011.12.8      【第 10 回】2017.12.10-12 【第 5 回】2012.12.14      【第 11 回】2018.12.3 【第 6 回】2013.12.16	【第 1 回】2009.7.27      【第 7 回】2014.12.9-11 【第 2 回】2009.12.15-16      【第 8 回】2015.12.2-3 【第 3 回】2010.12.7      【第 9 回】2016.12.2-5 【第 4 回】2011.12.9      【第 10 回】2017.12.12-13 【第 5 回】2012.12.15      【第 11 回】2018.12.4-5 【第 6 回】2013.12.17-18
調査対象	マクロミル社調査パネルの中から性(男・女)、年代(20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上)別に 1,000 人ずつを均等ランダム抽出した 10,000 人	1 次調査で COPD が「どんな病気かよく知っている」と回答した人の中から性(男・女)、年代(20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上)別に 11 回人ずつを均等ランダム抽出した 110 人
調査内容	Q1. あなたは COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気を知っていますか？ Q2. 以下の中で、聞いたことがある病気をお選びください。 Q3. あなたは「肺年齢」の検査について知っていますか？	Q1. あなたは喫煙したことがありますか？ Q2. COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気について知ったのはいつですか？ Q3. どのような経路で COPD について知りましたか？ Q4. COPD の原因の 90% 以上は喫煙であることを知っていますか？ Q5. 喫煙経験のある 40 歳以上の 8 人に 1 人は、COPD の可能性があることを知っていますか？ Q6. COPD の主な症状は慢性的な咳と痰(たん)、息切れであることを知っていますか？

**資料**

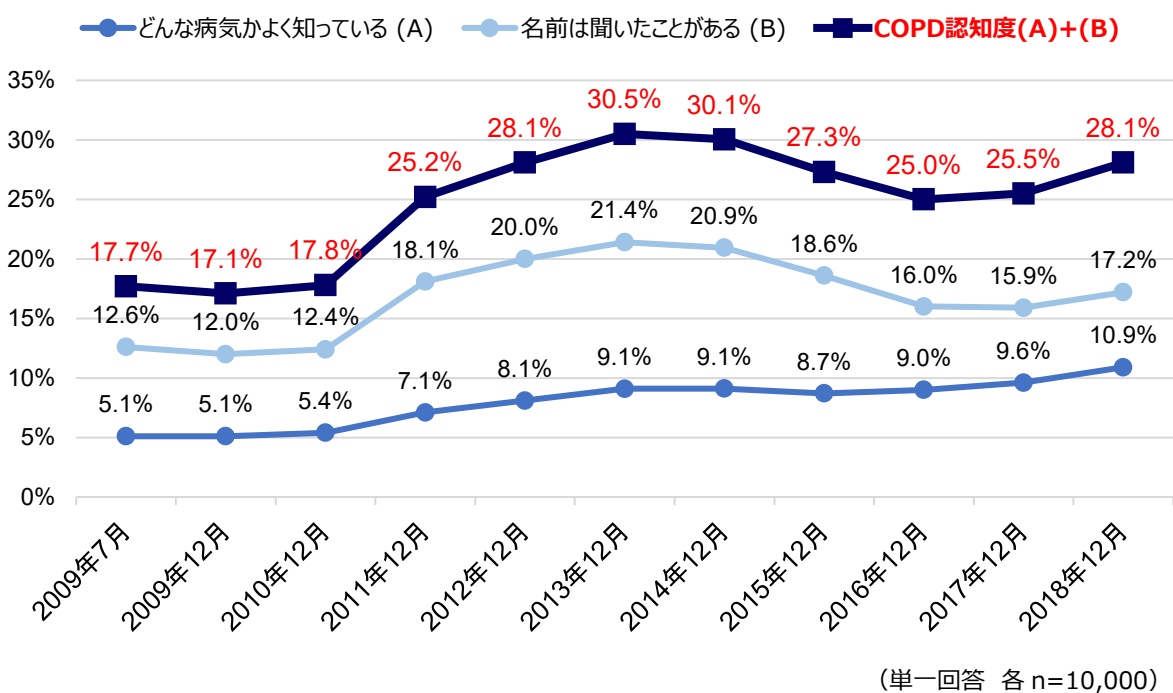
● COPD 認知度とその推移 (1次調査 Q1) 【2018年12月調査】

「あなたは COPD (シー・オー・ピー・ディー) という病気を知っていますか?」という質問に対して、「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」と答えた人は、合わせて 2,807 人 (28.1%) となった。COPD の認知度は調査を開始した 2009 年から 17% 台で推移していたが 2011 年には上昇に転じ、2013 年の 30.5% をピークに下降傾向となり、2016 年には 25.0% になった。2018 年は 2017 年の 25.5% からさらに 2.6 ポイント UP となり上昇に転じる結果となった。また、「どんな病気かよく知っている」と答えた人は 2009 年の 5.1% から 2018 年の 10.9% へとさらなる上昇が続き、「名前は聞いたことがある」と答えた人も 2018 年は 2017 年の 15.9% から 17.2% と 1.3 ポイント上昇した。

COPD 認知度 (2018年12月調査)



COPD 認知度の推移



**資料**

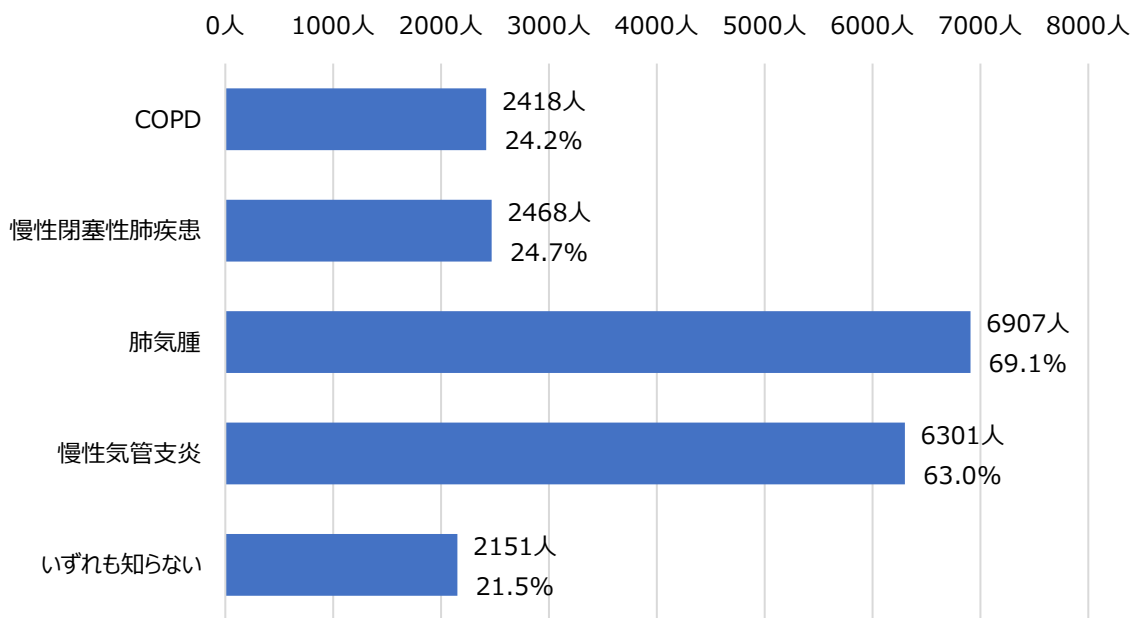
- 「COPD」「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知度合い（1次調査 Q2）

【2018年12月調査】

「COPD」「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の中で聞いたことがある病気を質問したところ、「肺気腫」が6,907人（69.1%）、「慢性気管支炎」が6,301人（63.0%）と高い結果となった。

「COPD」（2,418人、24.2%）と「慢性閉塞性肺疾患」（2,468人、24.7%）は、ほぼ同数で、「肺気腫」に比べて聞いたことがある人は1/3程度という結果となった。

「COPD」「慢性閉塞性肺疾患」「肺気腫」「慢性気管支炎」の認知度合い（2018年12月調査）



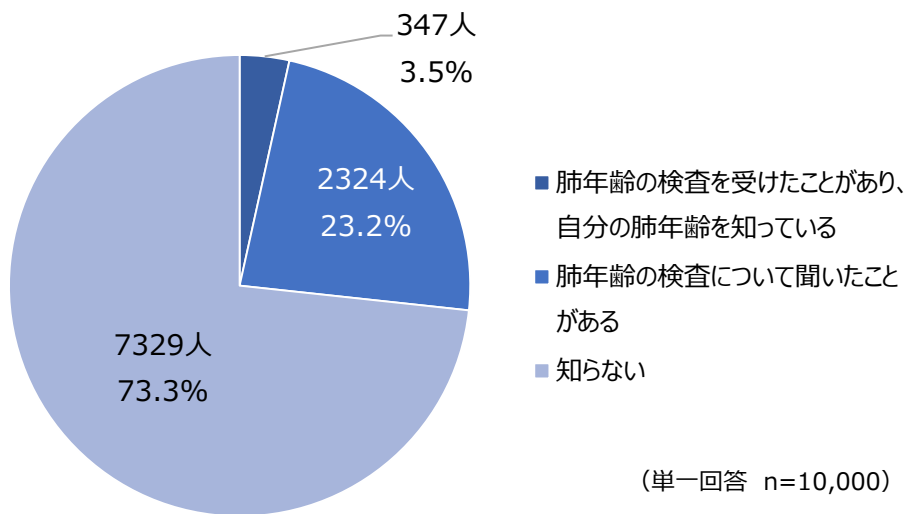
（複数回答 n=10,000）

**資料**

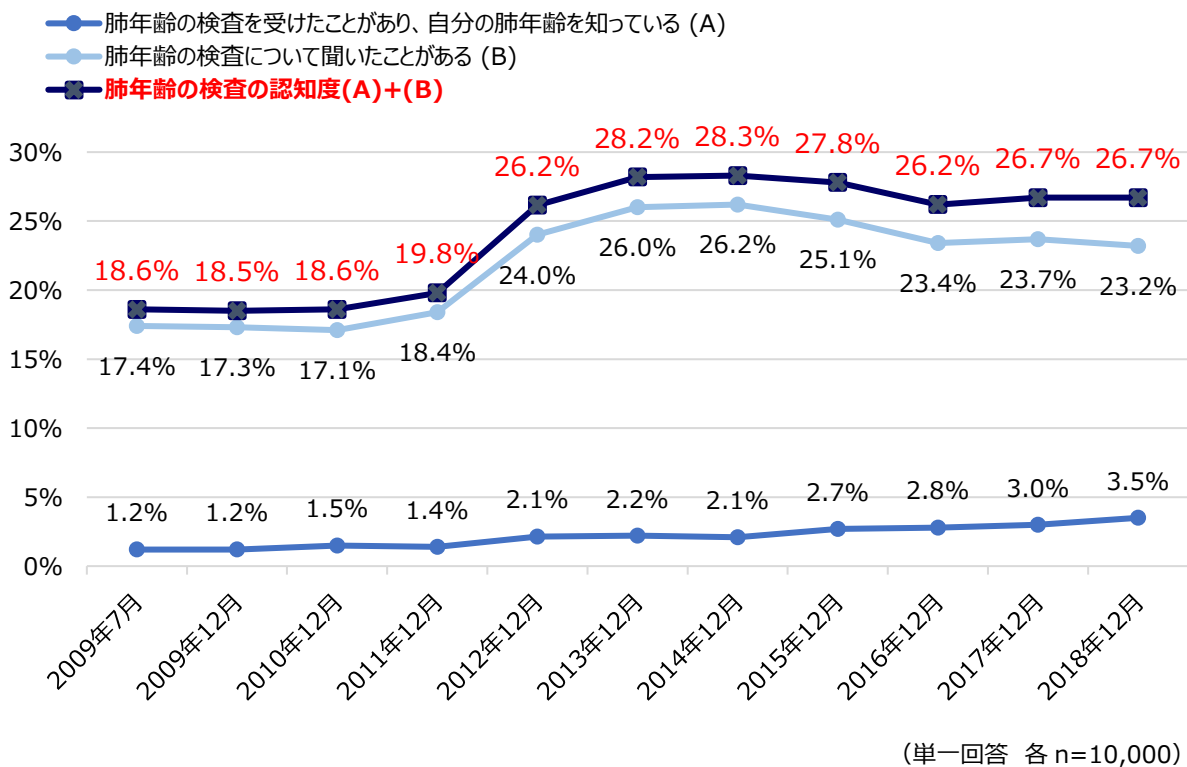
● 肺年齢の検査の認知度とその推移（1次調査 Q3） 【2018年12月調査】

「あなたは『肺年齢』の検査について知っていますか？」という質問に対して、「肺年齢の検査を受けたことがあり、自分の肺年齢を知っている」「肺年齢の検査について聞いたことがある」と答えた人は合わせて2,671人（26.7%）であった。2009年から2011年にかけての4回の調査では肺年齢の認知度は19%前後でほとんど変化がみられなかったが、2012年には26.2%に上昇し、以後26～28%台で推移している。2018年は2017年と変わらず26.7%であった。

肺年齢の検査の認知度（2018年12月調査）



肺年齢の検査の認知度の推移

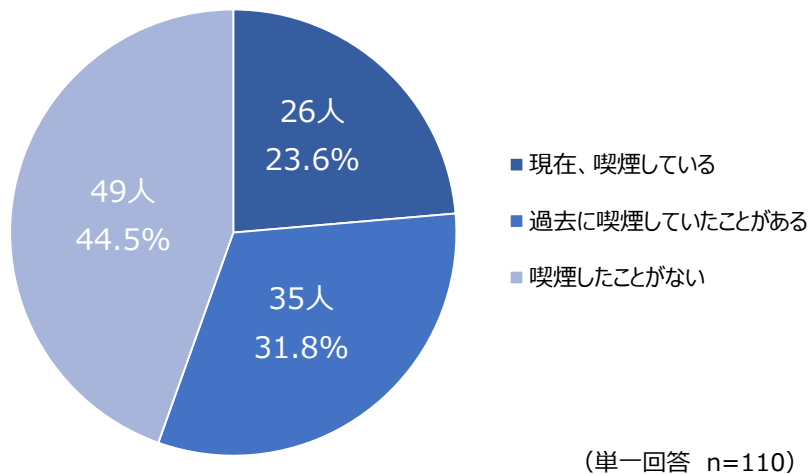


**資料**

● 喫煙経験の度合い（2次調査 Q1） 【2018年12月調査】

喫煙経験について質問したところ、「現在、喫煙している」と答えた人は23.6%（26/110人）、「過去に喫煙していたことがある」と答えた人は31.8%（35/110人）で、合わせて55.4%（61/110人）となり、「COPDがどんな病気かよく知っている」と答えた人の半数以上が喫煙経験者という結果となった。

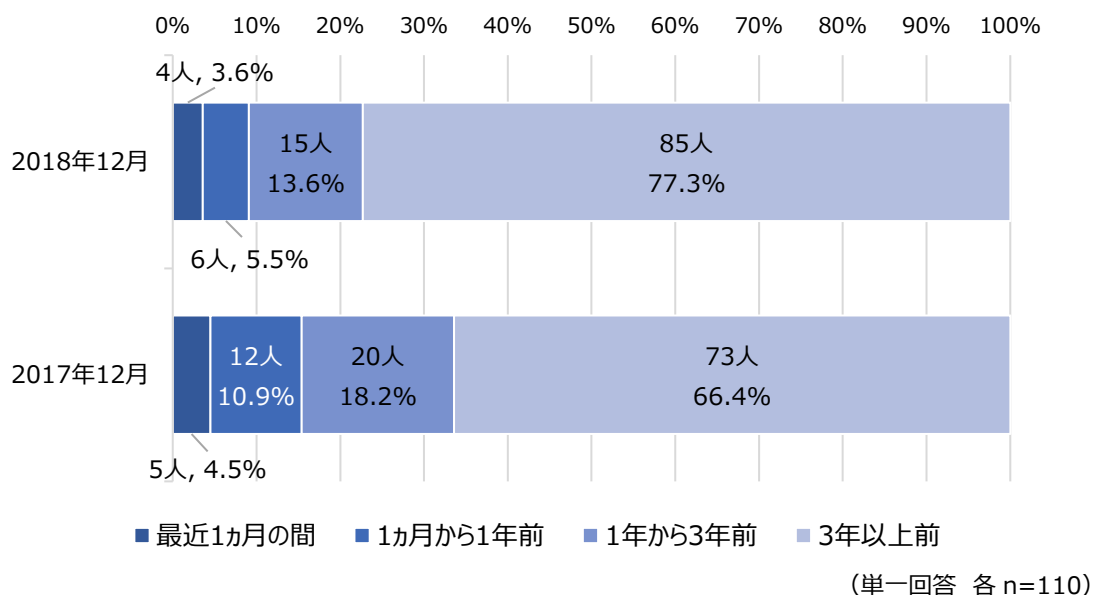
喫煙経験の度合い（2018年12月調査）



● COPDの認知時期（2次調査 Q2） 【2018年12月調査】

「COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？」という質問に対して、最も多かった回答は「3年以上前」の77.3%（85人）で、その割合は2017年（66.4%、73人）より増加している。一方で、この1年の間に新たにCOPDを知った人は合わせて9.1%（10人）で、2017年（15.4%、17人）より低下した。

COPDの認知時期の推移（2018年12月調査 vs. 2017年12月調査）

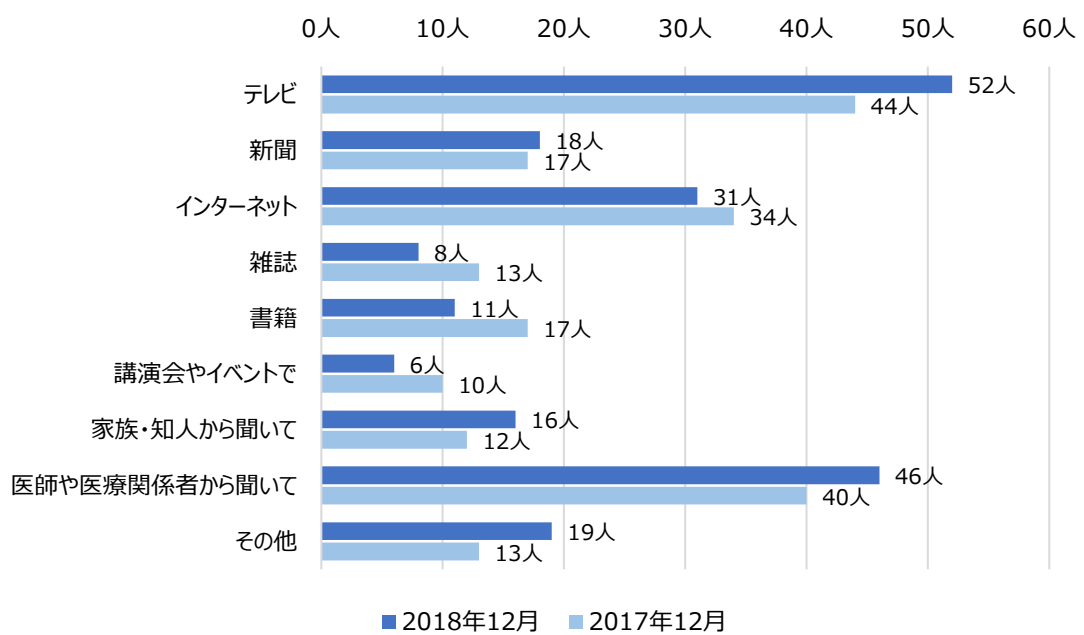


**資料**

● COPDの認知経路（2次調査 Q3） 【2018年12月調査】

「どのような経路で COPD について知りましたか？」という質問（複数回答）で回答が多かったのは「テレビ」52人、「医師や医療関係者から聞いて」46人、「インターネット」31人と、2017年と同じ順位となった。2017年と比べて主に「雑誌」「書籍」「講演会やイベントで」が減少し、2017年では伸びが大きかった「インターネット」もわずかに減少した。一方、「テレビ」「医師や医療関係者から聞いて」「家族・知人から聞いて」の増加は大きく、認知度上昇の要因となっている。

COPDの認知経路の推移（2018年12月調査 vs. 2017年12月調査）



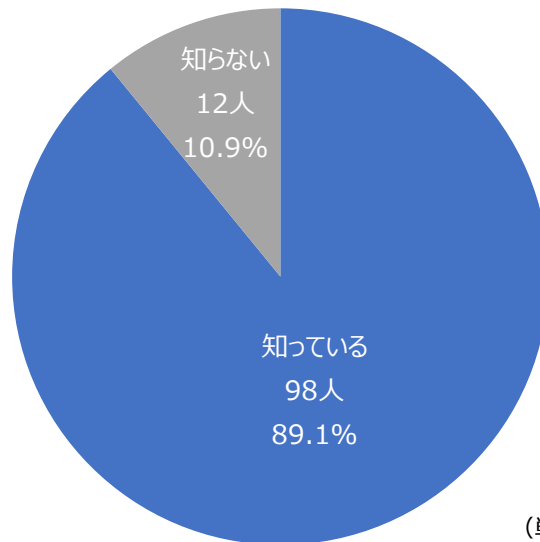
（複数回答 各 n=110）

**資料**

● 「COPDの原因の90%以上は喫煙であること」の認知度（2次調査 Q4） 【2018年12月調査】

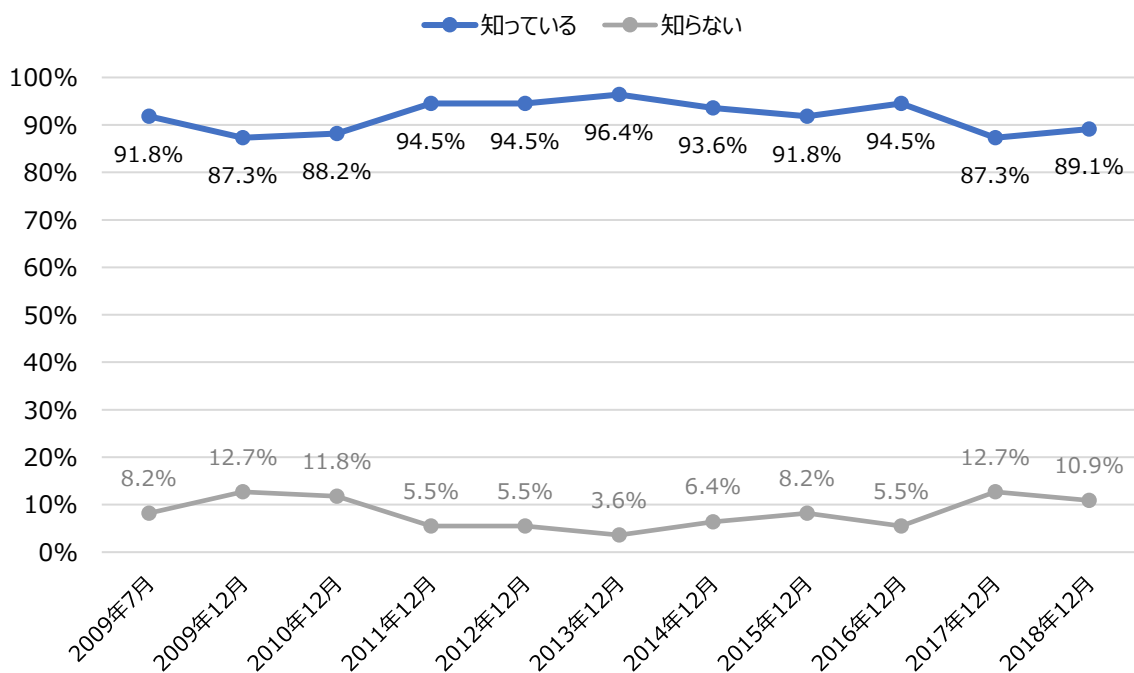
「COPDの原因の90%以上は喫煙であることを知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は98人（89.1%）であり、COPDを知っている人の大部分がCOPDの原因を正しく認識しているといえる結果となった。この傾向は2009年の調査開始以来続いている。

「COPDの原因の90%以上は喫煙である」ことの認知度（2018年12月調査）



（単一回答 n=110）

「COPDの原因の90%以上は喫煙である」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）

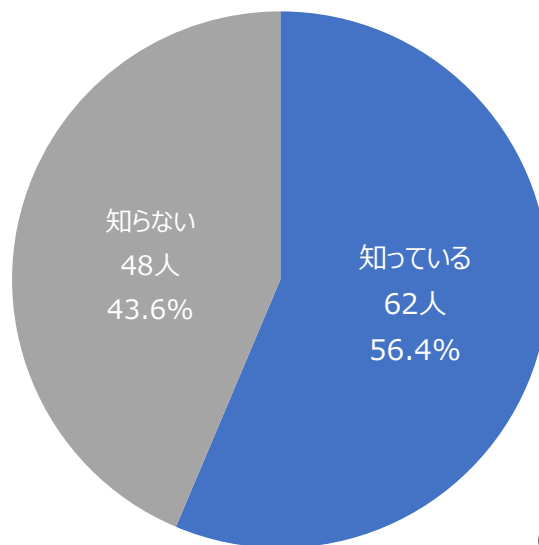
**資料**

- 「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度（2次調査 Q5）

【2018年12月調査】

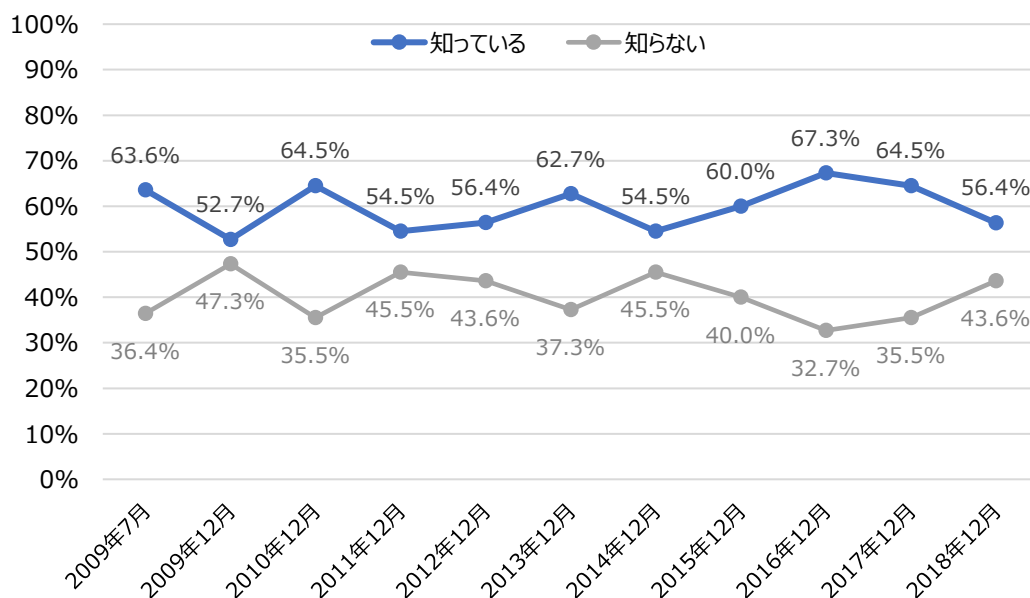
「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性を知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は62人（56.4%）で、COPDを知っている人の半数以上は喫煙経験、年齢とCOPDの関連を正しく認識しているといえる結果となった。ただし、その割合はここ3年減少傾向となっている。

「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度（2018年12月調査）



（単一回答 n=110）

「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性がある」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）



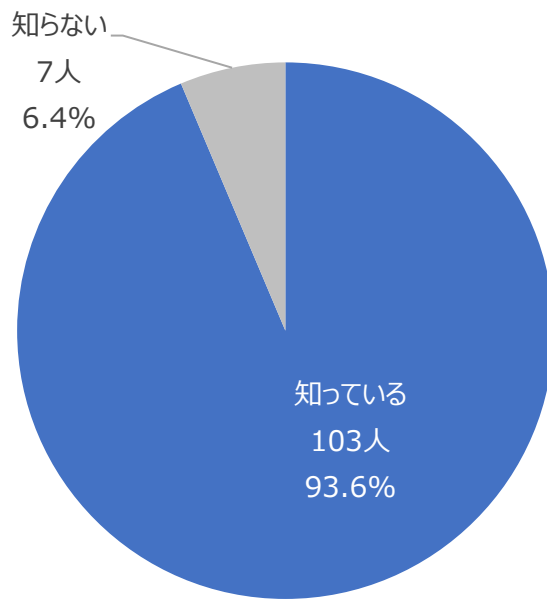
**資料**

- 「COPDの主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度（2次調査 Q6）

【2018年12月調査】

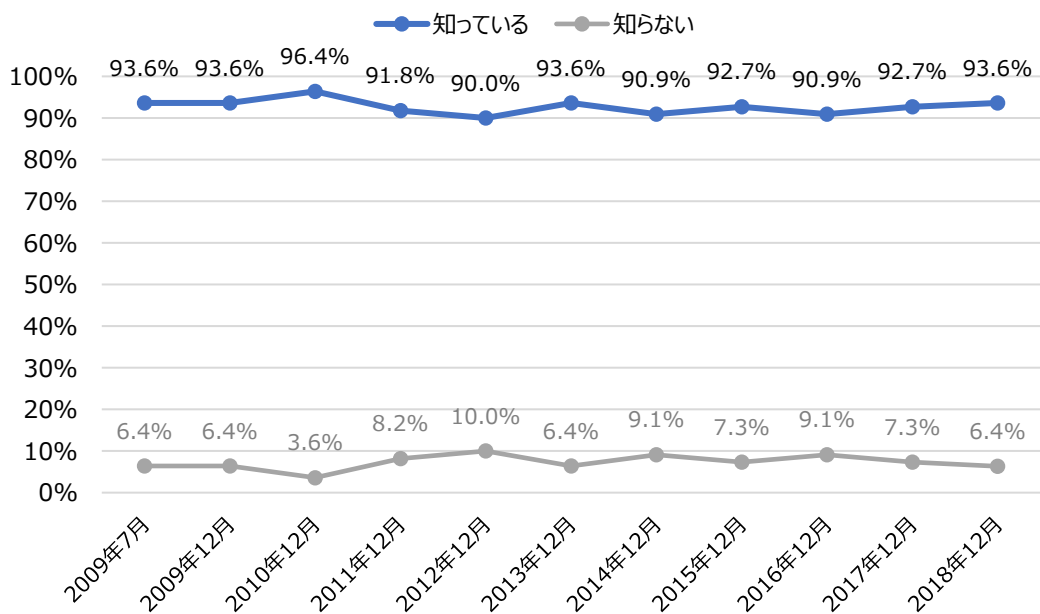
「COPDの主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れであることを知っていますか？」という質問に対して、「知っている」と答えた人は103人（93.6%）で、COPDを知っている人の9割以上がCOPDの主な症状を正しく認識しているといえる結果となった。この傾向は2009年の調査開始以来続いている。

「COPDの主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度（2018年12月調査）



（単一回答 n=110）

「COPDの主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れである」ことの認知度の推移



（単一回答 各 n=110）